



大阪医学統計学セミナー 第63回

Osaka Biostatistics Seminar

7月6日 (木)

16:00~18:00



OSAKA UNIVERSITY

**場所：医学系研究科基礎研究棟L階
医学統計学研究室
オンライン開催**

参加ご希望の方は、前日までに下記
問い合わせ先にメールにてお申込み
ください。

Pseudo-observations for the chance of a longer survival

講演者：横田 勲

北海道大学 大学院医学研究院 医学統計学

概要：

バイオマーカー等で個別化した最適な治療を決定する予測問題において、アウトカムが生存時間型である場合、時点と打ち切りの2変量であるため、何らかの変換を行う。この変換について、医学分野では、伝統的にハザード、特に比例ハザード性を仮定したCoxモデルが頻用されてきた。個別化予測の文脈では、仮定の少ないような変換やそれに伴うモデル化がのぞましく、Coxモデルで表現されるハザード比以外の指標について議論が活発である。その一つである、the chance of a longer survivalは、注目する治療を受けない場合に比べ、受けた場合に、(わずかでも、もしくはは一定期間以上)長生きできるか、と要約する変換である。一般化ペアワイズ比較を打ち切りを含むデータに拡張したものとみなせ、比例ハザード性のような仮定が不要なアプローチである。The chance of a longer survivalがよい部分集団を特定することで、治療が効果的な集団を特定するが、その際に、回帰モデルを導入することができれば、複数のバイオマーカーやカテゴリカルな因子、それらの組み合わせを簡便に評価できる。そこで、本研究では、擬似値(pseudo-observations)法を応用することにより、the chance of a longer survivalの回帰分析法を提案する。

お問い合わせ：大阪大学大学院医学系研究科 医学統計学講座

E-Mail : office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL : 06-6879-3301